

新職員の紹介



4月から和泉の里に配属されました。溝本 朝弥(みぞもと ともや)です。まずは業務を覚え、今後ご利用者の方に寄り添える支援員になれるよう努めていきますので、ご指導の程よろしくお願い致します。
(記: 支援員 溝本 朝弥)

和泉の里 ご協力

山中 尋子
小川 利江
(順不同、敬称略)

苦情・解決について

今月は苦情・解決に関わる事項はございませんでした。今後ともよろしくお願い致します。
(苦情受付担当 山下祐輔)

短期入所利用状況

日数 59日
人数 男性1名(内日中0名)
女性0名(内日中0名)

編集後記

新しい年度が始まり、ご利用者の皆様は新担当の発表を期待と不安の中待たれていました。支援員も違うご利用者の担当をさせて頂くことで、新たな発見も出来ますので、新年度はとても楽しみです。

今後も感染症対応等に気を付けながら、ご利用者のストレス発散のため、いろいろな企画を立案、実行していきたいと思っています。そして、広報誌を通じて皆様に和泉の里での活動を紹介していきたいと思ひます。今年度もよろしくお願ひ致します。

(今月担当 近藤瑞起)

いずみのひろば

2023年 第333号
発行日 2023年(令和5年)4月27日
発行責任者 施設長 柴沼廣
企画編集 近藤瑞起 岡口拓磨
五十嵐勇 森小津枝
社会福祉法人清光会 障害者支援施設 和泉の里
泉佐野市大木2247-1
TEL 072-459-7613 FAX 072-459-7250
【URL】 <http://s-seikoukai.or.jp/izuminosato>
【mail】 izuminosato@nifty.com

いずみのひろば

令和5年度を迎えて

昨年度は、新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生に伴い、いろいろご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。以後、感染者もなく新しい年度を迎えることができました。これも、ひとえにご家族、後見人の皆様並びに関係者の皆様のご協力の賜物だと思っています。本当にありがとうございます。

令和5年度の和泉の里のビジョンは、理事長より出されたビジョンに基づき、メインテーマとして「できない」ではなく、「どうすればできるか」を基本として取り組む」を考えています。

令和5年度は、①ご利用者、職員の「安全・安心」な生活環境、職場環境の提供②社会から求められる施設に、③障がい者福祉の専門職としての専門性、倫理性の向上の3点を柱に取り組みを考えています。

- ①ご利用者、職員の「安全・安心」な生活環境、職場環境の提供に関しては、
 - ・ご利用者の基本的人権を尊重し、ICTなども利用しご利用者の意向を最大限つかみ適切に対応する福祉サービスの提供
 - ・安全な施設内移動の確保
 - ・自然災害を含め、緊急時に対応できる体制の構築(新たに防災士の資格取得)
 - ・コロナに限らず感染症対応への準備
 - ・ハラスメント、メンタルヘルス、障害者虐待防止(身体拘束等の適正化も含む)への対応を重点的に実施

- ②社会から求められる施設に関しては、
 - ・和泉の里での令和5年度SDGsの取り組みの確認
 - ・社会貢献並びに、SDGsの取り組みの推進の一環として、「和太鼓 韻」の活動への積極支援
 - ・社会貢献並びにSDGsの新たな取り組みの模索
- ③障がい者福祉の専門職としての専門性、倫理性の向上に関しては、
 - ・職員の倫理性を高めるとともに、専門的な知識と技術の研鑽を行い、妥当性があり人権意識の向上する支援の実施。に取り組んでいきます。

令和5年5月8日以後、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行するに伴い施設内においても、コロナ禍の体制から従来の体制への見直しを進めているところです。「できない」ではなく「どうすればできるか」を基本に、従来の取り組みだけでなく新たな取り組みを行い、ご利用者に、「安全で、少しでも楽しい生活」ができるように運営していきたいと考えています。令和5年度も、いろいろご迷惑をお掛けすることも多いかもしれませんが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

施設長 柴沼 廣